

愛と冒険を運んでサンタがやってくる

Alexander Salkind Presents
Santa Claus
THE MOVIE

サンタクロース

DOLBY STEREO
5.1



サンタクロースって本当にいるの?

ダトリー・ムーア/ジョン・リスコー/デビッド・ハドストン/バージェス・メレディス
ジュディ・ゴンゾウエル/ジェフリー・クレイマー/クリスチャン・フィッツパトリック
製作 ● オリヴァー・ストーン/スティーヴン・ソダーク/スティーヴン・ソダーク 監督 ● キアノ・ジョーダン 脚本 ● ティム・ロビンソン
原作 ● アンドリュー・ソウザ/スティーヴン・ソダーク 監修 ● アーサー・ヘンリクス 音楽 ● ジョージ・クラウチ
音楽 ● ヘンリー・マンシニ オリジナル・サウンドトラック ● EMI (主権者: シナリオ・ストリー)
原作 ● 高橋文康 (神楽坂ナツ) イメージソング ● 徳間ジャパン (頃久)

(共同提供) 日本ヘラルド映画株式会社 ● 株式会社 東北新社 ● 株式会社 東芝 ● 三井物産株式会社 (共同配給) 日本ヘラルド映画 ● 東北新社 カラー作品/アメリカ・サルキントプロ超大作



サンタクロース

★ サンタクロースって 本当にいるの？

昔から、世界中の子どもたちが、おとうさんおかあさん相手にこんな質問をいったい何度繰り返してきたことでしょう。質問はあとからあとからきりもなく飛びだしてきます。

サンタさんご本人が非常に照れ屋なのかどうか、そこらへんの事情ははっきりしません。今までサンタ・クロースその人の正体は多くの謎につつまれたままでした。

そしてやっと。サンタさんの本当の姿を知りたい、という子どもたちと、そう思いながらいつの間にか大人になってしまった元子どもたち、の願いが、サンタクロースのもとに届いたのでしょうか。なんとサンタクロースが初めて映画に出ることになりました！題名もずばり『サンタクロース』。世界中に、知らない人はいないサンタクロース、彼の秘密をわたしたちに見せてくれる、わたしたちの疑問のすべてに答えてくれる、そんな映画がやってきます。

★ これは サンタクロースの物語

あるとき、あるところに、クラウドという木こりのおじいさんがいました。クラウドは毎年クリスマスになると、近くに住む子どもたちに自分の作った木の玩具を配って回る、優しい心の持ち主でした。

ある年のクリスマスのこと。クラウドと奥さんのアニアは、空から降りてくる不思議な光を見ます。光に導かれて着いたところは妖精の国でした。妖精たちは、世界中の子どもにプレゼントする玩具を作っているのですが、それを配ってくれる人を捜していたのです。クラウドはその仕事をひきうけることにしました。そして永遠の生命を与えられ、サンタクロースになったのです。

こうして、毎年クリスマス・イブには、妖精たちが丹精こめて作った木の玩具を袋につめ、8頭のトナカイがひくそりに乗って世界中の良い子たちにプレゼントを届けるサンタクロースが誕生したのです。

さて、時は流れて現代のニューヨーク。その年いつもの同じクリスマス・イブ、のはずでした。が、サンタクロースと、彼を待ちわびる子どもたちの前に、とんでもない邪魔



ダリウム・ア ジョン・リスゴー デビッド・ハドストン
バージェス・メディシ ジュディ・コーンウェル
ジェフリー・クレイマー クリスチャン・フィック/トリック
監督 ヤノット・シュワルツ 脚本 デビッド・ニューマン 音楽 ヘンリー・マンシーニ
原作 デビッド・レスリー・ニューマン 撮影 アーサー・イベッドソン
製作 イリヤ・サルキンド&ピエール・スベンクラ
視覚効果 ロイ・フィールド 特殊効果 マーチン・ガターリッジ
美術 ティム・ハッチンソン トニー・セット/マルコム・ストーン ジョン・ホーズリー
(メイク) S・フリーボーン・P・イングレン
【提供】
日本ヘラルド映画株式会社 株式会社東北新社 株式会社東芝 三井物産株式会社
(オリジナル・サウンドトラック) 東芝EMI
(主題歌) シーナ・アイズト
(映画原作本) 集英社 文庫刊
(配給) 日本ヘラルド映画 東北新社

者が現われます。サンタクロースの人気をねたむ妖精のバッチと、悪徳玩具メーカーの社長BZ。ふたりは手を組んで、空を飛べるようになるキャンディを製造して売りました。これが大あたり、けれども子どもたちには実は有害なものでした。これを知ったサンタクロースは、バッチとBZの手

から子どもたちを救うために立ちあがります。サンタクロースは果たして子どもたちのために本物の平和なクリスマスを取り戻すことができるのでしょうか。

★ 「サンタクロース」って なーに？

今までサンタクロースを主人公にした映画がなかった、なんて信じられます？ そう、この世界的に有名な人気者の物語を映画化したのは、実はこれが初めて。構想に10年、製作に約2年、製作費が、なんと5千万ドル。(125億円)！

この映画には、サンタクロースの袋みたいに、楽しい見どころがいっぱいつまっています。

子どもたちだけでなく大人までもときどきさせてくれるのが、妖精の国の、トナカイのそりの滑走路にもなる「トイ・トンネル」。なにして世界中の子どもたちに配る玩具が準備されているんですから、幅20m、高さ10m、奥行き100数十mのトンネルは、両側の壁に色とりどりの玩具がぎっしり。これは、6社の玩具メーカーが、この映画のために半年がかりで作ったもの。

もうひとつの見どころは、サンタクロースのそりをひくトナカイたちの大活躍。本物のトナカイ、人間が中に入って動かすトナカイ、コンピューター操作のトナカイなど、全部で5種類のトナカイがそれぞれ8頭ずつ、豊かな表情と愛らしい動きで、見事な演技を見せてくれます。

この壮大な夢物語の製作は「スーパーマン」のイリヤ・サルキンドとピエール・スベンクラ。監督は「スーパーガール」のヤノット・シュワルツ。

サンタクロースの存在を信じる子どもたちと、そんな子どもたちの夢を叶えてやりたいと願う優しい心を持った大人たちに、『サンタクロース』は心あたたまる感動と興奮をプレゼントしてくれることでしょう。



カラー作品 アメリカ・サルキンドプロ超特作

12月14日(土)より全世界ロードショー!

前売券発売中! 一般1200円(当日1500円) 学生1100円(当日大・高校生1300円・中学生1200円) 小学生900円(当日1000円) 幼児(4才以上)700円(当日800円)

伊勢丹前・シネタウン 新宿ビレッジ2 (351) 3129

●日本語版 上映